

常総労働基準監督署長が圏央道工事の 安全パトロールを実施（全国安全週間）！

令和5年7月5日



現場に掲示されたKY活動記録を確認する
署長



(左) 署長 (中、右) 鹿島建設職員様



(左) 鹿島建設 所長様
常総労働基準監督署 署長 (右)

常総労働基準監督署（署長 東海林 健史）は令和5年7月5日、全国安全週間期間中、鹿島建設株式会社施工の圏央道飯沼川高架橋（下部工）東工事（常総市から坂東市まで）の安全パトロールを実施しました。当該工事は東日本高速道路株式会社が発注する首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」）の4車線化工事の内、常総市から坂東市までの高架橋の下部工工事です。

常総労働基準監督署管内における令和4年の労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、新型コロナウイルス感染症の労働災害を除いて前年に比べ11人減少の327人（内死亡者数は1人）であり、今後、死亡災害、重症災害を発生させないよう取り組みを行っております。

既に完成済みの2車線道路において自動車が通行していることから安全対策に熱心に取り組みがされており、パトロール当日は安全衛生管理活動、熱中症対策、建設機械や高所作業・型枠での労働災害防止対策について確認を行いました。当該工事現場では、熱中症対策で作業員に対し、空調服を全員着用して現場作業での暑さ対策を行うとともに、休憩設備を設置し、水分補給ができるようになっており、声掛けを積極的に行い、体調に異変を感じた場合はためらわず、作業の中断・中止を行っております。

また、7月1日から7日までは、全国安全週間であることから、今後も安全衛生計画に沿った対策により全工期無災害が徹底されるようお願いしました。当署では、引き続き、労働災害防止に向けて、より実効ある取組を推進します。

【連絡先】常総労働基準監督署
監督・安衛課
電話：0297-22-0264